新機能および変更された機能に関する情報

- 新機能および変更された機能に関する情報, 1 ページ

新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、このマニュアルの新機能および変更された機能を要約し、各機能がサポートされているリリースを示します。ご使用のソフトウェア リリースで、本書で説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、https://tools.cisco.com/bugsearch/ の Bug Search Tool およびご使用のソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。

表 *1*：新規および変更されたセキュリティ機能

機能	説明	変更されたリリース	参照先
M3 モジュールでの IP ACL の設定	M3 モジュールのサポートが導入されました。	7.3(0)DX(1)	IP ACL の設定
ユーザごとのログイン ブロック	ユーザごとのログイン ブロックのサポートが追加されました。	7.3(0)D1(1)	AAA の設定
SGACL ACLLOG	SGACL ロギングをイネーブルにする機能が追加されました。	7.3(0)D1(1)	Cisco TrustSec の設定
SGACL モニタリング	SGACL のモニタリングをイネーブルにする機能が追加されました。	7.3(0)D1(1)	Cisco TrustSec の設定
SXPv3	SGT 交換プロトコル バージョン 3 のサポートが追加されました。	7.3(0)D1(1)	Cisco TrustSec の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
Cisco TrustSec サブネットと SGT のマッピング	Cisco TrustSec サブネットと SGT のマッピングのサポートが追加されました。	7.3(0)D1(1)	Cisco TrustSec の設定
Lightweight DHCPv6 リレーエージェント	Lightweight DHCPv6 リレー エージェントのサポートが追加されました。	7.3(0)D1(1)	DHCP の設定
UDP リレー	UDP リレー機能のサポートが追加されました。	7.3(0)D1(1)	DHCP の設定
フレキシブル ACL TCAM バンク チェーニング	フレキシブル ACL TCAM バンク チェーニング機能のサポートが追加されました。	7.3(0)D1(1)	IP ACL の設定
F3 の FabricPath での Cisco TrustSec MACsec	F3 シリーズ モジュールの FabricPath での Cisco TrustSec MACsec のサポートが追加されました。	7.2(1)D1(1)	Cisco TrustSec の設定
SSH 接続のログイン猶予時間の設定	SSH 接続のログイン猶予時間を設定する機能が追加されました。	7.2(0)D1(1)	SSH および Telnet の設定
Cisco TrustSec	次の機能のサポートが追加されました。 • ポート チャネル メンバでの Cisco TrustSec サポート • 2,00,000 IP-SGT マップ • 『Change of Authorization』 • FabricPath での SGT は、F2E および F3 ライン カードでサポートされます。 • 従来のイーサネット モードの F3 ライン カードでの MACSec 機能 • ポートプロファイルによる SGT 分類 • 仮想ポート チャネル（vPC）および vPC+ への SGT サポート	7.2(0)D1(1)	Cisco TrustSec の設定
コントロールプレーン ポリシング	IP ユニキャスト RPF 障害パケットを分類およびレート制限する機能が追加されました。	6.2(10)	コントロールプレーンポリシングの設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
ACL TCAM バンクマッピング	バンク マッピング マトリクスを表示するコマンドが追加されました。	6.2(10)	IP ACL の設定
Cisco TrustSec	F3 シリーズ モジュールに対して SGT サポートが追加されました。	6.2(10)	
DHCP リレーの trusted インターフェイス	次のコマンドのサポートが追加されました • **ip dhcp relay information option trust** • **ip dhcp relay information trusted** • **ip dhcp relay information trust-all**	6.2(8)	DHCP の設定
Cisco TrustSec	MACSec が F2e モジュールを サポートできるようになりました。 SGACL プログラミング タスクをバッチするサポートが追加されました。	6.2(6)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	VLAN を SGT にマップする機能が追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	SAP PMK を暗号化し、実行コンフィギュレーションに暗号化された形式で PMK を表示する機能が追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	設定された PMK の 16 進値を表示するための **show cts sap pmk** コマンドが追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	インターフェイスの Cisco TrustSec 機能を表示するための **show cts capability interface** コマンドが追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	10 進値を受け入れるための、**cts sgt**、**policy static sgt**、および **clear cts policy sqt** コマンドがイネーブルになりました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	ISE から sgname テーブルをダウンロードし、環境データ タイマーが切れると環境データを手動で更新する機能が追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
Cisco TrustSec	特定の SXP ピア、VLAN、または VRF に対する SGT マッピングまたは SGT マップ設定のサマリーを表示するためのオプションのキーワードが **show cts role-based sgt-map** コマンドに追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	すべての CTS 対応インターフェイスに関する概要を表示するための **brief** キーワードが **show cts interface** コマンドに追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	F2e および F2 シリーズ モジュールに対する SGT サポートが追加されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
CoPP	各モジュールの各ポリシーに関する 5 分間移動平均と一致および違反したバイトカウントのピーク値を表示するための **show policy-map interface control-plane** コマンドの出力が更新されました。	6.2(2)	Cisco TrustSec の設定
CoPP	VRRP IPv6 トラフィックをポリシングするための VRRP6 ACL サポートが追加されました。HSRP ACL は制御パケットの正しい宛先アドレスを反映するよう変更されます。	6.2(2)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	マルチキャスト トラフィックの動作が、異なるクラスにおいて異なるレートでポリシングされることから、3 つのクラス（マルチキャスト ホスト、マルチキャスト ルータ、標準）にグループ化され、一定のレートでポリシングされるように変更されました。	6.2(2)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	SNMP で CoPP をモニタする機能が追加されました。	6.2(2)	コントロールプレーンポリシングの設定
DHCP	DHCPv6 リレー エージェントのサポートが追加されました。	6.2(2)	DHCP の設定
IP ACL	ACL TCAM バンク マッピングのサポートが追加されました。	6.2(2)	IP ACL の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
IP ACL	ACL TCAM バンク マッピングのサポートが追加されました。	6.2(2)	IP ACL の設定
レート制限	レイヤ 3 収集高速パス パケットに対するサポートが追加されました。	6.2(2)	レート制限の設定
VLAN ACL	シーケンス中の拒否 ACE に対するサポートが追加されました。	6.1(3)	VLAN ACL の設定
Cisco TrustSec	Advanced Services ライセンスの要件を削除しました。	6.1(1)	Cisco TrustSec の設定
Cisco TrustSec	40G および 100G M2 シリーズ モジュールの MACsec のサポートが追加されました。	6.1(1)	Cisco TrustSec の設定
CoPP	FCoE に対する新しいクラスが追加されました。LISP、LISP6 および MAC レイヤ 3 IS-IS ACL が重要なクラスに追加されました。fcoe-fib-miss 一致例外が好ましくないクラスに追加されました。MAC レイヤ 2 トンネル ACL がレイヤ 2 非ポリシー クラスに追加されました。「permit icmp any any 143」ルールが acl-icmp6-msgs ACL に追加されました。	6.1(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
FIPS	スーパーバイザ 2 モジュールを含むスイッチのデジタルイメージ署名に対するサポートが追加されました。	6.1(1)	FIPS の設定
FIPS	M2 シリーズ モジュールに関する FIPS の注意事項が更新されました。	6.1(1)	FIPS の設定
IP ACL および MAC ACL	M2 シリーズ モジュールが更新されました。	6.1(1)	IP ACL の設定 および MAC ACL の設定
Cisco TrustSec	F2 シリーズ モジュールが更新されました。	6.0(1)	Cisco TrustSec の設定
CoPP	デンス デフォルト CoPP ポリシーが追加されました。	6.0(1)	コントロールプレーンポリシングの設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
CoPP	ラインカードごとにCoPPのスケールファクタを設定する機能が追加されました。	6.0(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
FIPS	F2 シリーズ モジュールに関する FIPS の注意事項が更新されました。	6.0(1)	FIPS の設定
IP ACL、MAC ACL、および VACL	F2 シリーズ モジュールが更新されました。	6.0(1)	IP ACL の設定、MAC ACL の設定、および VLAN ACL の設定
レート制限	F2 シリーズ モジュールのサポートが追加されました。	6.0(1)	レート制限の設定
RBAC	F2 シリーズ モジュールのサポートが追加されました。	6.0(1)	ユーザアカウントおよび RBAC の設定
TACACS+	コンソール セッションのコマンド許可を設定する機能が追加されました。	6.0(1)	TACACS+ の設定
ユーザアカウントおよび RBAC	SNMP OID に読み取り専用ルールまたは読み取り/書き込みルールを設定する機能が追加されました。	6.0(1)	ユーザアカウントおよび RBAC の設定
ACL と CoPP	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションでユーザ設定 ACL だけを表示する（およびデフォルトの CoPP 設定 ACL を表示しない）ように、**show running-config aclmgr** コマンドと **show startup-config aclmgr** コマンドが変更されました。	5.2(1)	IP ACL の設定、MAC ACL の設定、VLAN ACL の設定、およびコントロールプレーンポリシングの設定
Cisco TrustSec	インターフェイスでのポーズ フレームの暗号化と復号化のサポートが追加されました。	5.2(1)	Cisco TrustSec の設定
CoPP	設定ユーティリティを再度実行しないでデフォルト CoPP ポリシーを変更または再適用する機能が追加されました。	5.2(1)	コントロールプレーンポリシングの設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
CoPP	CoPP ベスト プラクティス ポリシーを読み取り専用に変更し、ポリシーを修正するためにコピーする機能が追加されました。	5.2(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	CoPP ベスト プラクティス ポリシーの詳細を表示する **show copp profile** コマンドと、ポリシー間の違いを表示する **show copp diff profile** コマンドが追加されました。	5.2(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	**show copp status** コマンドが変更され、CoPP ベスト プラクティス ポリシーのどの部分がコントロール プレーンにアタッチされているかを表示するようになりました。	5.2(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	セットアップ ユーティリティで、ベスト プラクティス CoPP プロファイルの **none** オプションの名前が **skip** に変更されました。	5.2(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	デフォルトのクラス マップが更新され、MPLS LDP、MPLS OAM、MPLS RSVP、DHCP リレー、および OTV-AS のサポートが含まれました。	5.2(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
DHCP	DHCP リレー エージェントに対するサブネットのブロードキャストのサポートと、DHCP スマート リレーのサポートが追加されました。	5.2(1)	DHCP の設定
FCoE ACL	F1 シリーズ モジュールに FCoE ACL のサポートが追加されました。	5.2(1)	IP ACL の設定
IP ACL	M1 シリーズモジュールに ACL キャプチャのサポートが追加されました。	5.2(1)	IP ACL の設定
LDAP	**ldap-server port** コマンドが非推奨になりました。	5.2(1)	LDAP の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
パスワードの暗号化	AES パスワード暗号化と設定可能なマスター暗号キーのサポートが追加されました。	5.2(1)	パスワード暗号化の設定
RADIUS	RADIUS サーバ キーのタイプ 6 暗号化のサポートが追加されました。	5.2(1)	RADIUS の設定
TACACS+	TACACS+ サーバ キーのタイプ 6 暗号化のサポートが追加されました。	5.2(1)	TACACS+ の設定
コントロールプレーン ポリシー マップ	ドロップされるパケットのしきい値を指定し、設定したしきい値をドロップ数が超えた場合に syslog を生成する機能が追加されました。	5.1(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	デフォルトのポリシーが更新され、802.1Q サービス クラス（cos）の値が含まれました。	5.1(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
CoPP	非 IP トラフィック クラスのサポートが追加されました。	5.1(1)	コントロールプレーンポリシングの設定
DHCP スヌーピング	vPC 環境で動作する最適化 DHCP スヌーピング。	5.1(1)	DHCP の設定
FIPS	連邦情報処理標準（FIPS）モードを設定する機能が追加されました。	5.1(1)	FIPS の設定
レート制限	F1 シリーズ モジュール パケットのサポートが追加されました。	5.1(1)	レート制限の設定
レート制限	スーパーバイザ モジュールに到達するパケットのレート制限を設定し、レート制限を超えた場合にシステム メッセージを記録する機能が追加されました。	5.1(1)	レート制限の設定
レート制限	レート制限をディセーブルにしたり、特定のモジュールおよびポート範囲のレート制限を設定したりするためのオプションが追加されました。	5.1(1)	レート制限の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
SCP および SFTP サーバ	リモート デバイスとの間でのファイルのコピーをサポートするために、Cisco NX-OS デバイスで SCP サーバおよび SFTP サーバを設定する機能が追加されました。	5.1(1)	SSH および Telnet の設定
ユーザ ロール	network-admin ロールおよび network-operator ロールが使用できるコマンドの構文を表示する機能が追加されました。	5.1(1)	ユーザアカウントおよび RBAC の設定
VTY ACL	VTY 回線で受信したトラフィックに対するアクセス コントロールのサポートが追加されました。	5.1(1)	IP ACL の設定
802.1X	ポート チャネルのメンバ ポートで 802.1X の設定をサポートします。	5.0(2)	802.1X の設定
AAA 許可	TACACS+ サーバ用のデフォルトの AAA 許可方法の設定をサポートします。	5.0(2)	TACACS+ の設定
CHAP 認証	CHAP認証のイネーブル化またはディセーブル化を許可します。	5.0(2)	AAA の設定
CoPP	デフォルトのポリシーが更新され、ACL HSRP6 のサポートが含まれました。	5.0(2)	コントロールプレーンポリシングの設定
DHCP	DHCP リレー エージェントの VRF へのサポートを許可します。また、**ip dhcp relay information option vpn** コマンドが追加され、**ip dhcp relay address** コマンドが変更されました。	5.0(2)	DHCP の設定
DHCP	リンク選択、サーバ ID オーバーライド、および VRF 名/VPN ID リレー エージェントの Option 82 サブオプション用のシスコ独自の番号である 150、152、および 151 の DHCP での使用をサポートします。	5.0(2)	DHCP の設定
IP ACL、MAC ACL、および VACL	スケーラブルなサービス ライセンスがインストールされており、XL ラインカードを使用している場合、最大 128K の ACL エントリを許可します。	5.0(2)	IP ACL の設定、MAC ACL の設定、および VLAN ACL の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol（LDAP）の設定をサポートします。	5.0(2)	LDAP の設定
ローカル認証	リモート認証が失敗したときに、ローカル認証へのフォールバックをイネーブルにします。	5.0(2)	AAA の設定
ローカル認証	ローカル認証へのフォールバックのディセーブル化を許可します。	5.0(2)	AAA の設定
OTP	ワンタイムパスワードをサポートします。	5.0(2)	RADIUS の設定
定期サーバモニタリング	グローバルな RADIUS サーバと TACACS+ サーバの定期モニタリングをサポートします。	5.0(2)	RADIUS の設定および TACACS+ の設定
PKI	リモートの cert-store と証明書マッピングのフィルタをサポートします。	5.0(2)	PKI の設定
権限ロール	権限ロールのユーザ コマンドを許可または拒否できます。	5.0(2)	TACACS+ の設定
レート制限	レイヤ 2 トンネル プロトコル（L2TP）パケットをサポートします。	5.0(2)	レート制限の設定
SGACL ポリシー	RBACL ロギングのイネーブル化またはディセーブル化を許可します。	5.0(2)	Cisco TrustSec の設定
SGACL ポリシー	RBACL 統計情報のイネーブル化、ディセーブル化、モニタリング、およびクリアを許可します。	5.0(2)	Cisco TrustSec の設定
SSH	SSH ログインの最大試行回数の設定をサポートします。	5.0(2)	SSH および Telnet の設定
SSH	リモート デバイスに接続するために、Cisco NX-OS デバイスのブート モードからの SSH セッションの開始をサポートします。	5.0(2)	SSH および Telnet の設定

機能	説明	変更されたリリース	参照先
SSH	パスワードなしで Cisco NX-OS デバイスから SCP サーバまたは SFTP サーバへのファイルのコピーをサポートします。	5.0(2)	SSH および Telnet の設定
TACACS+ の特権レベルの許可	Cisco NX-OS デバイスでローカルに設定されたユーザ ロールに対して、TACACS+ サーバでユーザ用に設定された特権レベルをマッピングできます。	5.0(2)	TACACS+ の設定

新機能および変更された機能に関する情報